**宇喜田小学校： 10．3問**江戸川区（区立）10.3問

東京都（公立）：10.9問　　　全国（公立） ：10.1問

平均正答数

**令和６年度　全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて　【算数】　宇喜田小学校**

**「 領 域 別 」 の 結 果**

**正答数分布**

＜四分位における割合（都全体の四分位による）＞

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 上位　　　　　　　　　　　　　　下位 | | | |
| **算　数** | Ａ層  14～16問 | Ｂ層  12～13問 | Ｃ層  8～11問 | Ｄ層  0～7問 |
| **宇喜田小学校** | **29.3** | **26.9** | **23.2** | **20.8** |
| 江戸川区（区立） | 25.2 | 19.2 | 29.8 | 25.8 |
| 東京都（公立） | 31.9 | 20.2 | 27.4 | 20.5 |
| 全国（公立） | 23.5 | 19.8 | 30.7 | 26.0 |

|  |  |
| --- | --- |
| 【平均正答率の差】 | |
| **宇喜田小学校** | **68％** |
| 江戸川区（区立） | 64％ |
| 東京都（公立） | 68％ |
| 全国（公立） | 63.4％ |
| 都との差 | **0ポイント** |

【分析結果と授業改善に向けて】

令和６年度の全国学力・学習状況調査では、全国平均を上回り、都の平均正答率と同数値であった。領域別では、若干都を下回ったが、B：図形（本校：71.6%　都：70.8%）では、都の平均正答率を上回った。観点別でも、全国を上回った。都と比較すると、「思考・判断・表現」では下回ったが、「知識・技能」では、0.4％上回った。全体的な知識・技能の定着を図るため、引き続き、ミライシード（ドリルパーク）や朝学習、補習、江戸川区学力定着度調査等を実施し、学習の基礎を身に付けられるよう指導を工夫していく。

性質を活用して求め方と答えを書くことや、必要なデータを正しく読み取ることに課題があるので、今後、表やグラフに表したり、読み取ったりする指導を丁寧に繰り返し行うとともに、考えを書く活動を取り入れながら、児童同士でも教え合う場面を設定し、苦手意識を克服させていく。

上位層の児童には、発展的な学習や互いに説明する機会を設定し、学力を引き上げていく。

％

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄ層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都（公立）のデータを基に定めている。